

町長への手紙・回答内容

(R7. 3月受付分)

NO	投稿者 氏名・住所	(要望・意見内容)	回 答
1	50代 女性	<p>1. 農業関係</p> <p>今TVで話題になっているお米です。川西独自で暑さ、病気に強い品種を作ってマイナスイメージのある農業のイメージUPを。我が家は田んぼを作ってもらっていましたが、高齢化、担い手不足。大変な割に収入が安定しない等魅力が少ない職業。</p> <p>今年から田んぼも作ってもらえなく困っています。農業委員会、地区の推進員さんにお世話になってさがしていただいている状況です。地区内だけでは限界があると思います。川西全体で法人化（企業化）を考えて進めていただきたいと思っています。</p>	<p>1. 米の新品種については、県において、新品種「山形142号」が開発されており、2027年の市場デビューを目指しています。</p> <p>「山形142号」は、はえぬきと比べて暑さに強く、収量が多いのが特徴です。米の白さ、味、炊飯後の光沢なども、はえぬきより優れており、「つや姫」、「雪若丸」に続く、県産ブランド米として期待されています。</p> <p>米の新品種の開発にあたっては、研究施設の整備や専門知識を有した職員の配置が必要なだけでなく、開発研究費用も要することから、県が中心となり実施しており、今後も県と連携しながら研究してまいります。</p> <p>町内の農地の受け皿については、町として農業法人の設立促進に向けて、県と連携しながら支援を行っております。直近5年間において13法人が設立されており、各地区の農地の受け皿として取り組んでいただいております。</p> <p>また、現在、各地区において、10年後に目指すべき農地利用の在り方を示した「地域計画」を策定中です。町では、この「地域計画」を基に、地域と連携しながら、農地の有効活用に取り組んでまいります。</p>

2. イベント、PR関係

私なりに川西のPR（食べ物や花火大会等）を知り合いとかにしています。色々なイベント、遊ぶ所、有名人を呼んだりして川西にまず足を運んでもらい、良い所を楽しんでもらいたい。

人口減少も進み、1、2も難しい問題だと思っています。若者から先輩方まで楽しくのんびり過ごせて活気のある町になってもらいたいと願っています。

これからの川西町、町長さん、町の職員さんに大変だと思いますが、ご期待をしておりますので宜しくお願いします。

3. 井上ひさし氏イベント関係

井上ひさしさんの「ひょっこりひょうたん島」を使ってイベント、ツアー（ひょっこりひょうたん島ワールド企画を期間限定で）を物語スタイルで。

そういうイベント等に県内外からまずは来てもらい、川西を知ってもらおう事から。そしてツアー、イベントも川西独自でなく置賜地域で協力して大規模な企画を進めるのはどうでしょうか？

2. お知り合いへの周知、大変ありがとうございます。ご指摘のとおり、町内には食べ物をはじめ多くの魅力的な資源があり、町民の皆様によるPRは非常に効果的な情報発信であると捉えています。

今年も、夏まつりをはじめ様々なイベントを予定していますので、ぜひPRをお願いします。多くの方々にお越しいただけるよう、私たちと一緒に川西町を盛り上げてまいりましょう。

3. 本町のPRのご提案をいただきありがとうございます。本町では、川西町を知ってもらう、来てもらうために本町の「ダリア」や「紅大豆」などさまざまな資源を活用して町のPRを図っています。本町出身の井上ひさしさんが原作者のひとりである「ひょっこりひょうたん島」についても、かつて町商工会が中心になってPRに活用したことがありましたが、継続するには権利関係の課題があり、現在は積極的な活用を行っておりません。

ツアーやイベントについては、ご指摘のように本町だけでなく、置賜や県全域での取り組みも行い、より多くの方に参加いただけるよう計画しております。

		<p>4. 移住、定住、観光PR</p> <p>人口減少を少しでもおさえるには、働く場所（会社）がないと移住する方、川西に残る方も増えないと思います。なかなか難しいことですが。川西の食べ物、好きなラーメン、美しいダリヤ等魅力は沢山あるので、PRですかね。</p>	<p>4. 人口減少の抑制に向けて、働く場所を確保して人を呼び込むことは大切な視点である一方、川西ならではの魅力がなければ人の定着は期待できません。</p> <p>今後も町の魅力を一層磨き上げて、対象者にあったPRを研究のうえ実施してまいります。</p>
2	60代 男性	<p>（米坂線のダイヤ変更に伴うデマンド交通の運行時刻）</p> <p>本年3月15日のJR米坂線のダイヤ改正により、それまでの米沢発14：47→羽前小松着15：11 7153D列車が米沢発16：00→羽前小松着16：21 に変更になり、デマンド交通の最終便（16：00）に間に合わなくなりました。</p> <p>これからは、もし県庁に行くとして、デマンド交通の最終に間に合うには、1本前の米沢駅12：16発7151D列車に乗らなければなりません。だとすれば、山形発11：11の電車です。また、今回米沢駅前始発に延伸された代行バス11便（13：47発）でも、山形12：16発の電車になります。とすれば、県庁前11：33発のバスで帰らなければなりません。これでは、満足に用を済ませるのは難しいでしょう。</p> <p>川西町のホームページに、町の公共交通機関としてデマンド交通が掲載されていますが、県庁で満足に用を済ませられないような状況で、町の公共交通機関としての使命を果たしていると胸を張って言えるのでしょうか？</p> <p>今回、16：21 羽前小松駅着に繰り下げられた米坂線7153D列車に間に合うように、デマンド交通の最終便の30分の繰り下げを切に要望する次第です。</p>	<p>デマンド交通運用に対しご意見いただきありがとうございます。</p> <p>デマンド交通の運行時間に関しましては、通院や買い物等の利用者のニーズを勘案し利便性の高い時間帯において運行させていただいております。更なる利便性向上のため、いただきましたご意見も参考にさせていただきます、今後とも利用者のニーズの把握に努め検討を進めてまいります。</p>

3	80代 女性	<p>(高齢者相談関係)</p> <p>毎日お忙しいことと存じます。</p> <p>私達お年寄りばかり多くなった過疎地域、困る事だけが多くなりました。80代の一人暮らしの女性が家の前にイノシシが来て畑が荒らされ困っていました。誰かに相談できないものかと言っていました。20～30年前は老人相談員という方が部落にいましている相談できました。</p> <p>老人が多く1人2人暮らしが多くなった今、80年90年と長い間頑張って生き抜いてきた私達の事も忘れないで御配慮していただきたいと思いお願いのお手紙出しました。</p> <p>若い町長さんよろしく願いいたします。</p>	<p>本町の高齢者のみの世帯は年々増加しておりますが、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくことを目標に掲げ、各種施策に取り組んでおります。</p> <p>高齢者の総合相談窓口を町福祉介護課内に設置しており、地域では在宅介護支援センター職員が訪問しながら相談をお受けしています。民生委員の方々からの情報も役場に随時お寄せいただき対応しています。</p> <p>高齢者の方はもちろんのこと、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、全ての町民の皆さんが幸せに笑顔で暮らす「共生社会の実現」を目指してまいります。</p>
4	無記名	<p>(米坂線関係)</p> <p>新聞読みました。</p> <p>米坂線。川西町ノーと言う勇気を出してください。</p> <p>誰のために復旧するのですか。今以上の利用が見込めるのですか。もっと予算の使い方を考えてください。無理、ムダとしか思えません。土木業者のためですか。</p>	<p>米坂線は地域住民の日々の暮らしを支える、なくてはならない交通機関であり、山形県と新潟県をつなぐ横軸の鉄道ネットワークとして、全国的な鉄道ネットワークの一翼を担う重要な公共交通機関であると認識しており、鉄道での復旧とJRによる運行を第一の目標としつつ、上下分離や三セク移管も含めて検討を行っていく必要があると考えております。ただしご意見のとおり、地方へ負担が大きいことから、費用負担の圧縮や国への支援の要請などにより財政負担の軽減を図っていきたいと考えております。また、復旧後の利用拡大についても、その特性を生かした取り組みを進めてまいります。</p>